

はじめに



本県は、富士山、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父山塊と四方を名峰に囲まれ、県土の約8割を森林が占める自然豊かな県です。緑あふれる森林から生み出される清らかな水や澄んだ空気など、県民共有の貴重な財産である恵み豊かな環境を良好に維持し、将来にわたって引き継いでいく必要があります。

一方、近年では、地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響により、世界的に深刻な自然災害が発生しており、国内においても、これまでに経験したことのない猛暑やゲリラ豪雨などによる甚大な被害が発生しています。

県では、2009年に全国に先駆けて、地球温暖化対策のために、県民、事業者、行政が連携することで、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指す「CO₂ゼロやまなし」を宣言し、その後、2020年10月には、政府が「2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロ」を宣言しました。

これまで、県民一人ひとりが、日常生活の中で身近にできる省エネの取り組みやエコ活動などを賢く（クール）選択（チョイス）して実践する「やまなしクールチョイス県民運動」などの取り組みを行ってきました。

こうした中、本年2月には、行政や企業、各種団体等がパートナーシップを構築しながら、CO₂ゼロやまなしの達成に向けて取り組む「ストップ温暖化やまなし会議」の設立と、全国で初めて、県内全市町村共同による「やまなしゼロカーボンシティ宣言」を行ったところであり、今後、各自治体の特性を生かしながら、全県一丸となって、さらに取り組みを推進していきます。

本書は、山梨県環境基本条例第9条の規定に基づき、令和元年度（2019年度）における本県の環境の状況及び環境の保全と創造に関し講じた施策を取りまとめたものです。

多くの皆様に本書が活用され、環境に対する関心の一層の高まり、環境保全活動への実践につながることを願っております。

2021年3月

山梨県知事 長崎 幸太郎

